

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部市民課		■担当係	市民相談係
■評価事業名称	消費者救済資金貸付事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030100 - 204	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	03 安全・安心な地域社会の構築		
	■施策	06 市民相談の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	多重債務からの生活再建。消費者債務の整理等のための貸付事業に対する預託として、消費者信用生活協同組合及び北上信用金庫と預託契約。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	消費者救済資金貸付事業	信用生協→消費者	市から北上信用金庫に貸付原資として預託27,000千円(定期預金)	貸付:71件市から北上信用金庫に貸付原資として27,000千円(定期預金)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	44,001	38,001	32,001	27,004	
人件費	372	375	229	1,306	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	44,373	38,376	32,230	28,310	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	信用生協北上事務所の相談解決率	0.7	0.8	0.6	0.6	H30相談件数121件(相談解決71件) / 相談解決÷相談件数
03	消費者救済資金貸付制度の活用状況	0.71	0.67	0.61	0.59	総貸付残高÷貸付枠金額

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

全体的に相談件数、貸付件数ともに減少している。

問題点・課題等

貸付利率が高く、信用生協からの貸付を受けるメリットがなくなっているため、貸付率の引き下げが必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

現状通りの事業執行とする

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了